

南丹市子育て発達支援センター運営委員会議事録

令和5年度第1回

(令和5年5月26日)

令和5年度第1回南丹市子育て発達支援センター運営委員会議事録

1. 日 時 令和5年5月26日(金)
開 会 午前10時00分 閉 会 午前10時50分

2. 場 所 南丹市役所 4号庁舎 2階大会議室

3. 協議事項 別紙次第のとおり

4. 出席委員 村上委員長 西村副委員長
粟津委員 河方委員 澤田委員 山森委員 渡邊委員 高西委員
寺田委員 新井委員 西田委員 大西委員 大谷委員 石丸委員

5. 事務局 福祉事務所長 矢田
社会福祉課課長 奥村
社会福祉課係長 土屋
社会福祉課主査 荒木
つくし園施設長 大平

6. 傍聴人 0名

1.開会あいさつ 委員長

本日第1回センターの委員会ということで、沢山の委員さんにご参加頂きました。民生児童委員協議会の幹事をしており、近隣の身近な相談役として早く気づき、寄り添い、各関係機関に繋いでいくという使命を頂いている。この会議が有意義な場でありますように。

2.議事

・令和4年度発達支援相談事業経過報告

事務局より資料1, 2を基に報告。

・令和4年度児童発達支援事業経過報告

事務局より資料3を基に報告。

・事業経過報告について質疑応答

A 委員：保護者から子育て発達支援センターに直接相談がある方は、フォローをされている方なのか。

事務局：子育て発達支援センターに繋がっている方から相談があるというよりは、全く繋がっていない方、もしくは相談を終了された方から相談がある。今年度も小学校の保護者から学校の様子について心配があると相談があった。相談内容によって、学校へ参観に行ったり、必要な相談に繋げている。

A 委員：急に1年生の保護者から相談があるのは想定内の範囲か。

事務局：想定内の場合もあるが、そうでない場合もある。小学1年生になると環境が全く変わる。学校へ参観に行ったり連携した時の様子に応じて、臨機応変に対応している。

B 委員：保護者からの相談が増えているという事だが、子育て発達支援センターの認知度が上がった理由や、身近に相談しようと思えるようになった理由はあるか。新型コロナウイルス感染症の影響もあれば教えて欲しい。

事務局：子育て発達支援センターの認知度に関しては、乳幼児健診からスタッフとして入っている。その中で保護者と会う機会があり、気軽に相談してもらえる。また、園へ出向き運動プログラムを実施し、その様子を園だより等を通して保護者へ伝えて頂いている。それによりセンターの認知度が上がっていき、気軽に相談できるようになったと感じる。新型コロナウイルス感染症の影響としては、相談をキャンセルされる方もあったが、しっかりと利用して頂いた。

議長：ありがとうございました。他にご質問、ご意見はありませんか。

⇒質疑なし

・令和5年度事業計画について

事務局より資料4, 5を基に説明。

・事業計画について質疑応答

C 委員：つくし園の職員には医療機関への同伴もして頂き、その結果をすぐに支援計画にも入れて頂いた。リアルタイムに子どもの発達成長に合わせた支援してを頂いていることや、毎回とても丁寧につくし園での様子をファイルに記載して頂いており、とても安心感がある。

F 委員：子どもに対しての事業が沢山作られているが、グレーゾーンの子どもに対して、社会に出たときにやっていけるか不安に感じることがある。そういう相談にのって頂けるようなところがあると、安心できる。

事務局：子育て発達支援センターへ相談を頂けたら結構です。

A 委員：誰に相談したらいいのだろうと感じる心配事などを、雑談の少し延長のような感じで話せる場所があったらよいと思い、保護者交流サロンを開催する予定。

議長：発達支援事業及び児童発達支援事業経過報告及び事業計画について、承諾いただける方は拍手願います。

⇒全員拍手

議長：承認されました。

それでは、議事をこれで終わります。

議長退壇

3.閉会のあいさつ 副委員長

貴重なご意見を賜りましてありがとうございました。発達支援に関しては、特に早期発見が非常に大切だと感じている。相談に対する敷居が下がるということは非常に良いことだと思っている。保育園から小学校など、しっかりと連携しておられるので安心した。ソフト面がしっかりとできいるということを本日改めて感じた。引き続き皆様のご意見を賜りながら、子育てに優しい南丹市を作っていくために、皆様と一致団結して努力していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。